

## 「延世大学スプリングスクール派遣参加報告書」

京都大学経済学4年 鈴木七海

## ①学習成果

～韓国語の学習に関して～

なかなか日本で韓国語を話す機会がなかったのですが、3週間韓国で過ごすことで、少しは流暢に話せるようになったと思います。もともと、韓国語の学習は韓国人の先生とラングエッジエクステンションをしていただけだったので、文法の基本などよく知らなかったのですが、韓国では、文法も会話もできたので、とても良かったです。

しかし、延世大学では実際に韓国人の正規生の学生と話す機会が少なかったのもそれは残念でした。

もともと韓国人の友人が多くいるので、彼らと話すことが多かったのですが、英語でいつも話してしまうくせが抜けず大変でした。

～韓国のフェミニズムに関して～

わたしはもともと韓国のフェミニズムを勉強したいとずっと思っていたので、今回様々な形で韓国と日本のフェミニズムを比較できたのは良かったです。特に、延世大学の女子学生会の方々とお話できたのはとても良かったです。韓国も日本と同様女性の地位が低いですが、韓国の方が女性ももっと声を上げているなと思いました。

感動的だったのは、女子学生会が声を上げ続け、学校の生徒が性犯罪に関わった場合、どのような機関で対応し、どのような処分を受けるのか明記されていることでした。京都大学では、WINDOWS構想がありますが、女子学生がまだまだ少ないままなのに、具体的に女子学生をエンパワメントするような動きがあるとは思えません。何年前かに京大でもアメリカンフットボール部の選手たちによる性犯罪があったと思います。退学処分になっていたと思いますが、もともと規則として定めてくれていた方が、女子学生は安心（もちろん被害に遭う男子学生にとっても）できる学生生活になるのではないかと思います。

## ②海外での経験

韓国と日本は非常に似ているなと思いました。直接断ったりすることは少なく、婉曲的に伝えますし、教育も韓国は日本を習っているの、非常に似ています。また、日本人のように外国人にオープンでないところも共通していると思いました。韓国人と日本人は親和性が高いなと思いました。

また、ソウルは特に発展していて、交通機関は東京よりもわかりやすく、住みやすいと感じました。

## ③プログラムの内容

語学がメインでした。もっと現地の韓国人留学生と実際に話す時間が取れたらよいなと思いました。

## ④今後の進路への影響

韓国語は趣味で始めたので、進路に直接影響することは少ないと思いますが、将来の選択肢が増えたと思います。